

## お出かけください 文化施設巡り ⑥

このコーナーでは、豊岡市立の文化施設を巡り、紹介します。

# 北前船の軌跡を今に伝える 北前船資料室



所在地 豊岡市竹野町竹野50 12 ☎47-2020 FAX 47-2021  
 開館時間 9:00 ~ 17:00  
 休館日 年中無休  
 入館料 無料



当館職員の世良純一が  
ご案内します。

江戸時代、大坂(阪)から下関を廻り対馬海流に乗って日本海に入ることを「北前」と呼んでいました。そこを行き来する船を「北前船」といい、物資を大量に輸送できるよう積荷を入れる部屋を幅広くしたため、船体がずんぐりしているのが特徴でした。日本海の荒波を乗り越えるための工夫でもあったのです。運賃でもうけるのではなく、物資を安く仕入れて、次の港で高く売るという「買積み」で大きな利益を得ていました。

竹野港は、江戸中期から明治末期まで北前船の寄港地として栄え、各地から物資のみならず文化や風俗なども運ばれてにぎわいました。北前船資料室では、北前船の構造をはじめ、交易のようすや当時の文化遺産など、北前船に関する貴重な資料を展示しています。



**天神丸**  
北前船の5分の1の模型です。毎年5月3日の北前まつりではパレードの先頭を飾ります。



ひきふだ  
引札

各寄港地で発行される広告の一種で、色とりどりの図柄が目を引きま。点数が多く、時代や交易が分かる資料として全国的にも注目されています。



かざりせん ごく ぶね  
飾十石船

船主は新しい船を造ると、その模型を床の間に飾ってお披露目しました。展示されているうちの2点は、市指定有形民俗文化財になっています。



ふなだんす  
船筆筒

船頭などが着物を入れておく衣装筆筒や貴重品を入れる懸硯などがあります。飾金具の意匠を凝らしています。